



西村伊作は大正デモクラシー期を代表する文化人の一人です。彼は日本人の生活の改善や教育・住宅の改革を説き、当時の人々から熱い支持を集めたのでした。大正10(1921)年には与謝野寛・晶子夫妻らの協力を得て、東京に文化学院を創立し、自由でのびのびとした教育を実践しました。又同年、西村建築事務所を設立し、数多くの家族本位の住まいを建築したのでした。彼の活動はいずれも、昭和戦後の教育やすまいの先駆けとなっています。彼にとって軽井沢は縁の深い避暑地です。文化学院が芽生えたのもこの地であり、又旧友で後に浅間高原教会の創立牧師となった沖野岩三郎ともこの地で親しく交流し、外国人宣教師らの住まい方を高く評価し、自らの生活改善に取り入れました。さらにこの地で彼の理想を具体化した興味深い作品を残しています。我が国近代の教育史や住宅史に大きな役割を果たした西村伊作の軽井沢での足跡をたどります。

## 企画展 世界人としてのライフスタイル 西村伊作と避暑地 軽井沢

文化学院・沖野岩三郎  
— 匡邑・草軽電鉄・西村別荘



### 西村 伊作 (1884-1963)

和歌山県新宮市に生まれ、幼くして両親を震災で失い、山林主の母方の西村家の養子となり遺産を引き継ぐ。青年期から独学で絵を描き、陶器を作り、欧米のモダンリビングをとり入れた自邸を設計。アメリカ留学を終えた医師である叔父、大石誠之助と本格的に生活の改善、欧米化を推進する。

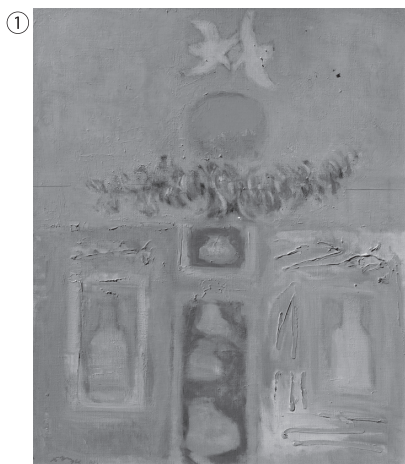
### 「軽井沢の家」 西村伊作

暑さを知らなくて、便利で、質素で、清潔な避暑地としての軽井沢は、単に暑熱を避けて夏を過ごす場所である以外に、重要な徳のある所です。それはこの地が世界的生活法の練習地として適当な所なのです。我々が一夏そこに過ごすことに依って、世界各国の人々を見、世界人の生き方とその社交の状態を観察して、我々日本人の鎖国的精神を開いて、世界人としての生活に入る緒口を得るに都合の良い所だと思います。

(1922/8/6 週刊朝日)

## 常設展 西村伊作と文化学院の芸術家たち

佐藤忠良・脇田 和・猪熊弦一郎・碓伊之助  
村井正誠・荻 太郎・棟方志功・山本蘭村



- ① 脇田 和「メキシコの太陽」 油彩
- ② 荻 太郎「裸体」 油彩
- ③ 棟方志功「パリ」 木版
- ④ 村井正誠「顔」 油彩
- ⑤ 山本蘭村「母と子」 油彩

入場料	大人：800円 大学・高校生：600円 中学・小学生：400円 (団体割引、身障者割引あり)
春のアートフェスティバル	子どもたちの作品展示 10:00~17:00 5月3日(金)~5月6日(月) 入場無料
ローズフェスティバル -バラとお茶の会-	10:00~17:00 6月29日(土)~7月15日(月) 会費：2,000円(各種特典あり)
サマーコンサート	トイピアノ コンサート(畑 奉枝/今久保宏美(ソプラノ)) 7月 7日(日) 開場 18:00 開演 18:30 2,500円
	①ギター&ヴァイオリン デュオコンサート 8月 3日(土) (上田浩司/カレン・イスラエリアン)
	②近藤和花 ピアノコンサート 8月10日(土)
	③ボサノバ/サバトス コンサート(木村 純・三四郎) 8月17日(土)
	④一噌幸弘(能管・篠笛・角笛他)・壺井彰久(ヴァイオリン) 8月31日(土)
	⑤「シャンソンの夕べ」塩川秀子/山崎さだみ(シンセサイザー) 9月 7日(土) 開場 18:00 開演 18:30 3,000円(ワンドリンク付き)
	④のみ 開場 16:30 開演 17:00 ⑤のみ 2,000円
	①④は軽井沢ペット福祉協会チャリティコンサート
秋のアートフェスティバル	スケッチ大会、体験教室 10:00~17:00 入場無料 10月13日(日)
美術館展示説明会	建築史家/田中修司氏 13:00~ 7月14日(日)・10月13日(日)

- JR 長野新幹線「軽井沢駅」下車  
または、乗継ぎ しのの鉄道「中  
軽井沢駅」下車で 3km  
※夏期は両駅より路線バス運行
- 上信越自動車道「碓氷・軽井沢  
IC」より 12km 軽井沢バイパス  
18号「鳥井原」交差点(歩道橋)  
より杉爪方面へ 1.5km
- 駐車場 20台収容

☆ カフェテラス Cafe Le Vent、ミュージアムショップ Le Vent は常時ご利用いただけます。

**割引券** このチラシ持参の方は4名様まで100円割引させていただきます。